



在宅歯科医療推進のための 歯科衛生士の資質向上事業

参加費 **無料**

令和7年4月より申込開始

本事業では、歯科衛生士に対して、在宅及び施設において口腔健康管理の実践能力を修得するための研修会を開催しております。

6月8日(日)
10:00~11:10

※Zoomによる
オンライン開催

定員:40名

「在宅で支える小児の口腔ケア :歯科衛生士に求められる 知識と技術」

広島県歯科医師会 広島口腔保健センター
歯科医師 尾田 友紀先生

内容: 近年、医療的ケアが必要な子どもたちが急速に増加しています。小児在宅歯科医療の現状と歯科衛生士に求められる知識や技術、今後の展望についてお話いたします。

取得単位:
「在宅歯科医療の基礎」
I B(1単位)



6月14日(土)
15:00~17:20

場所:
広島大学
歯学部研究棟B
6階
デンタルスキルス
ラボ4

定員:20名

「エンド・オブ・ライフケアにおける 基礎知識 ~患者の『生きる』を支えるために~」

社会福祉法人広島YMCA福祉会
YMCA訪問看護ステーション・ピース
所長 がん看護専門看護師 濱本 千春先生

内容: 超高齢社会となった現在、歯科衛生士が在宅診療に関わる中で、「エンド・オブ・ライフケア」の概念を持った対応が求められます。患者の人生を支えるために、「エンド・オブ・ライフケア」の基礎知識、疼痛・症状のマネジメント、歯科の役割について、解説いたします。

取得単位:
「在宅歯科医療の基礎」
II C、III B(2単位)



6月29日(日)
10:00~12:20

場所:
広島大学
歯学部研究棟A
6階 A622

定員:14名

「呼吸理学療法の理論と実践」

広島都市学園大学 大学院 保健学研究科
教授 馬屋原 康高先生

内容: 誤嚥時の対応の一つとして、体位ドレナージや呼気介助といった呼吸理学療法があげられます。呼吸理学療法に必要な基礎知識について、演習を含めて解説いたします。

取得単位:
「在宅歯科医療の基礎」
VIC、VID(2単位)



7月13日(日)
10:00~11:10

※Zoomによる
オンライン開催

定員:40名

「ドライマウス患者の検査診断と 口腔衛生管理の重要性」

広島大学病院 口腔検査センター
歯科医師 大林 奈美先生

内容: 高齢者や有病者のドライマウスは、生活の質を著しく低下させる可能性のある深刻な問題です。ドライマウスの原因や症状、検査方法、口腔衛生管理について、シェーグレン症候群の解説と併せてお話いたします。

取得単位:
「在宅歯科医療の基礎」
VII E(1単位)



お申込みは
各QRコードより
お願いいたします

※令和7年4月より申込みを開始いたします(定員になり次第締切)。
※本事業は、公益社団法人日本歯科衛生士会の第5次生涯研修制度に基づく専門研修(基本研修)C特定コースの単位が取得できます。
(取得単位は各講義で異なりますので、ご確認ください。)

